



2024年1月に逝去した染色家の柚木沙弥郎。Sammyを愛するひとびとが集い、感謝の気持ちを分かち合う1日限りの特別イベントが開催決定！沙弥郎のレアな作品、写真や映像の展示、豪華ゲストによるリレートーク、音楽の演奏など盛りだくさんの1日です。

— 開催概要 —

Merci Sammy! 柚木沙弥郎感謝祭

日時：2026年1月29日（木）13:00 - 20:00

会場：自由学園明日館 〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-31-3

池袋駅メトロポリタン口より徒歩5分／JR目白駅より徒歩7分

入場料：事前予約制、有料。すべて chioben（チオベン）の特製弁当「サミベン」つき（税込）

①前半チケット（13:00～16:00）3,500円

②後半チケット（16:30～20:00）3,500円

③通しチケット（13:00～20:00）5,000円

※事前予約制（Peatixで2025年12月25日（木）12:00pmより予約開始。定員になり次第受付終了）

<https://mercisammy.peatix.com>

主催：柚木沙弥郎感謝祭実行委員会

— イベント概要 —

染色家・柚木沙弥郎は「ワクワクすること」を創作の原動力に、最後まで現役を貫き、残された作品やことばから、今も私たちはたくさんのパワーをもらいます。2024年1月31日に旅立ってもうすぐ2年、Sammyを愛するひとびとが集い感謝の気持ちを分かち合う、1日限りの特別な会を開催します。会場は東京・池袋にある、沙弥郎にも縁の深いフランク・ロイド・ライト設計の自由学園明日館。沙弥郎の希少な作品、写真や映像を展示するほか、豪華ゲスト10人のリレートークや音楽の演奏など盛りだくさんの内容です！

【詳細】

「Samiro Exhibition 2026」 13:00 ~ 20:00

未公開の沙弥郎作品、秘蔵品などの展示

トークセッション「Merci Sammy!」 第一部：13:30 ~ 15:30 / 第二部：17:00 ~ 19:30 (*時間は目安、敬称略)

沙弥郎ゆかりのゲスト10人のリレートーク。チリンとドロン、hanautaの音楽が花を添えます。

第一部：水沢勉（「永遠のいま展」監修、神奈川県立近代美術館元館長）、林綾野（「柚木沙弥郎 lifeLIFE」展キュレーター）、

福田里香（菓子研究家）、深澤直人（日本民藝館館長、プロダクトデザイナー）予定

第二部：伊藤康（福音館書店、元『母の友』編集者）、渡邊三奈子（女子美術大学名誉教授）、柴田隆寛（編集者）、

大島忠智（イデーディレクター）、北村恵子、テリー・エリス（MOGI Folk Artディレクター）、

草刈大介（PLAY! ミュージアム プロデューサー）予定

「Cafe Samiro」 13:00 ~ 20:00

山本千織による<chioben>特製「サミベン」（チケット代に含まれる）、

全国から届く沙弥郎縁の御菓子、明日館の喫茶をお楽しみいただけます。（別途有料）

「Hello Samiro Theater」 13:00 ~ 20:00

沙弥郎を撮り続けた写真家・木寺紀雄らの写真展示や映像作品の上映。

「Samiro Shop」 13:00 ~ 20:00

全国から取り寄せた沙弥郎パッケージの御菓子（監修：福田里香）、書籍やオリジナルグッズを販売。



柚木沙弥郎（ゆのき さみろう）

1922年東京田端生まれ。柳宗悦の「民藝」の思想と芹沢銈介のカレンダーとの出会いから染色の道に進む。1949年、第23回国展に初出品。翌年の第24回国展で<型染幾何文茶地間仕切>が国画奨学賞を受賞し、以後2021年、第95回展まで出品を続ける。型染による染布、染絵など多くの作品を制作しながら、女子美術大学で教鞭をとり、1987年から1981年まで同校の学長を務める。染色のほか、絵本や版画、立体作品にも取り組む。日本民藝館、フランス国立ギメ東洋美術館をはじめ国内外で数多くの個展を開催。2021毎日デザイン賞受賞。2024年逝去。101歳まで現役で仕事を続けた。

photo by Norio Kidera

一 関連画像 一

掲載等でご希望がございましたら、下記プレス担当までお問合せください。

【フォトグラファークレジットをご記載ください】和文：木寺紀雄 欧文：Norio Kidera



A



B



C



D



E



F



G



H



I



J